

## 「ヘルストピア延岡経営改善計画案」(資料)

### ①新会員制度(案)

- 従来の3ヶ月(3,090円)、6ヶ月(5,240円)、1年(10,480円)の入会金を要する期限付きの会員制度を廃止し、新たに550円(カード手数料程度)の入会金を設定し期限は設けない。
- 新会員料金は550円の入会金支払の後、1回の料金はお風呂かプール470円、お風呂・プール両方利用で750円(従来の会員料金は1回の利用が片方で310円、両方利用520円)。 ※70歳以上の方は延岡市の助成により市民に限り200円引き。
- 100円で2ポイント、500ポイントで500円の商品券をプレゼントのサービスと会員だけの特典だったタオルの無料貸し出しを中止。  
新たに10回入館で1回無料券進呈のサービスを実施する。  
※一般(大人)料金と小中学生及び幼児(3歳以上)の料金は据え置き。

#### <運営体制を変更する理由>

- 1) 現会員価格設定は利用者一人当たりコストを大きく下回っている。
- 2) 収支の構造的赤字の原因になっている。
- 3) ビジョン策定委員会の答申においても会員制度の抜本的見直しが求められている。

### ②浴場及びプール営業時間の見直し(案)

- 浴場については損益シミュレーションの結果、10時～21時がベストであり、現在実施中。
- プール営業時間は上半期(4月～9月)の営業時間が毎日営業の10:00～20:00。下半期(10月～3月)は火曜日、金曜日、土曜、日曜と祝日の週4日～5日の10:00～20:00。  
(変更前でコロナ禍以前のプールの営業は10:00～22:00)

#### <運営体制を変更する理由>

- 1) プールは繁忙期の7～8月のみ黒字でそれ以外の期間は赤字
- 2) 利用状況を分析し、多くの方々が利用される曜日や時間帯をもとに営業日、営業時間を設定することで収支を改善
- 3) 収支改善には下半期を休止した方が効果があるが、市民の皆様の健康増進を図るなどの公益性を図ることを優先

### ③売店縮小化及びテナント化(案)

- 赤字が続いていたため生鮮品(野菜、果物)販売を廃止し、弁当類、プール用品他最低限の雑貨に絞った縮小化を実施中。
- 令和3年4月以降は当社による直接経営は行わず、テナント化にする。
- テナント化に伴い床面張替えを行い、休館日でも土足で直接入店できるよう外からも気軽に立ち寄れるお店に対応する。
- テナント化により弁当類の数が増えることと、団体利用客や近隣地区住民、スポーツ、文化関係者のニーズにも対応できる。
- テナント横にイートインスペースを設置する予定。テナントにてコーヒーを販売し、館内外、気軽に立ち寄れるスペースを設ける。

○売店改修工事に掛かる費用は2,500千円を見込んでいる。

○改修工事の工期は令和3年2月～4月末を見込み、5月ゴールデンウィーク前オープンを目指す。

#### <テナントにする理由>

- 1) 従来から直営体制をとってきたが売店部門の赤字が続いており、新型コロナウイルス感染症による入館者数の減少によりさらに経営が深刻化。テナント化し経営改善を図るため。
- 2) ビジョン策定委員会から外部委託などの検討が必要との答申がなされていた。
- 3) 外部経営者による売店とすることで利用者ニーズへの対応が可能となるとともに、安定したテナント収入を確保し経営改善が図られる。

#### ④キッズランド移設に伴う1階改修(案)

○1階改修工事に伴いLED化を実施。合わせて明るく清潔感のある雰囲気づくりに着手。

○キッズランドを2階より1階へ移設。子育て世代集客の柱とする。

○キッズランドは「すべての世代が楽しめる屋内パーク」のビジョン策定委員会より提案されたキャッチフレーズを生かし実現するもの。

○キッズランド移設に伴う改修工事費用は、子どもがケガをしないよう緩衝材の設置等の改修工事が必要で、その費用として8,000千円を見込んでいる。

○改修工事の工期は令和3年4月～6月末を見込み、遅くとも夏休み前の移転、開店を目指す。

#### <キッズランドを移転する理由>

- 1) ビジョン策定委員会の提案は、ヘルストピア延岡は「全ての世代が気軽に楽しむ屋内パーク」を目指すべき姿として掲げており、利用頻度の高い高齢者だけでなく、若い子育て世代や子ども達も利用できる機能を強化する必要があるとしていることから、この提案に応えるものである。
- 2) 1階売店のテナント化によりイートインスペース等を設置してもなお、空きスペースが発生する。
- 3) 現在の場所(2階旧ゲームコーナー)は奥まった場所にあり、認知度が低いため1階に移転して子育て世代の利用者の増加を図る。
- 4) ガラス越しに見られるプールの近くに設置することで、兄弟姉妹の利用も見込め、祖父母を含めた家族全員(三世代交流)の利用促進を図る。